

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2012年 6月 30日

愛知県知事 様

提出者

住 所 名古屋市東区泉一丁目 22 番 22 号
戸田建設株式会社名古屋支店
氏 名 執行役員支店長 西村 雅史
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-951-8541

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社名古屋支店
事業場の所在地	名古屋市東区泉一丁目22番22号
計画期間	2012年4月1日～2013年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完工高 9.754 (百万円)
③従業員数	344名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>新築工事 名古屋支店指定推薦業者のみ委託契約し、電子マニフェスト利用</p> <p>解体工事 がれき類(コンクリート塊)→再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化</p> <p>委託契約する全ての産廃業者を現地確認後→マニフェスト発行 交付した紙マニフェストごとに返却されるB2, D, E票を照合する。 電子マニフェストでは、web画面上で、「最終」まで●がついているか確認する。</p>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		以下、「別紙」のとおり	
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		以下、「別紙1」のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) (建築部門) 新築・増築工事から排出される産業廃棄物を対象に、延床面積当たりの排出総量の削減を環境目標に掲げ排出抑制に努めている。 (土木部門) チェックシートを活用し、搬入の抑制や場内処理の工夫による排出抑制に努めている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項		以下、「別紙1」のとおり	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ゼロエミ推進現場を毎年選定し、リサイクル率85%以上に向け建設に関わる副産物の適正な循環的利用を推進し、環境負荷の低減を図っている。また、ゼロエミ活動を通じ「環境モラル」の向上を図る。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・梱包材の削減や、工場加工・プレカット等による搬入物の削減 ・金属くずなどの有価物 ・汚泥の天日乾燥による減量化・安定化など場内再生利用の工夫		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		以下、「別紙1」のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		以下、該当なし	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

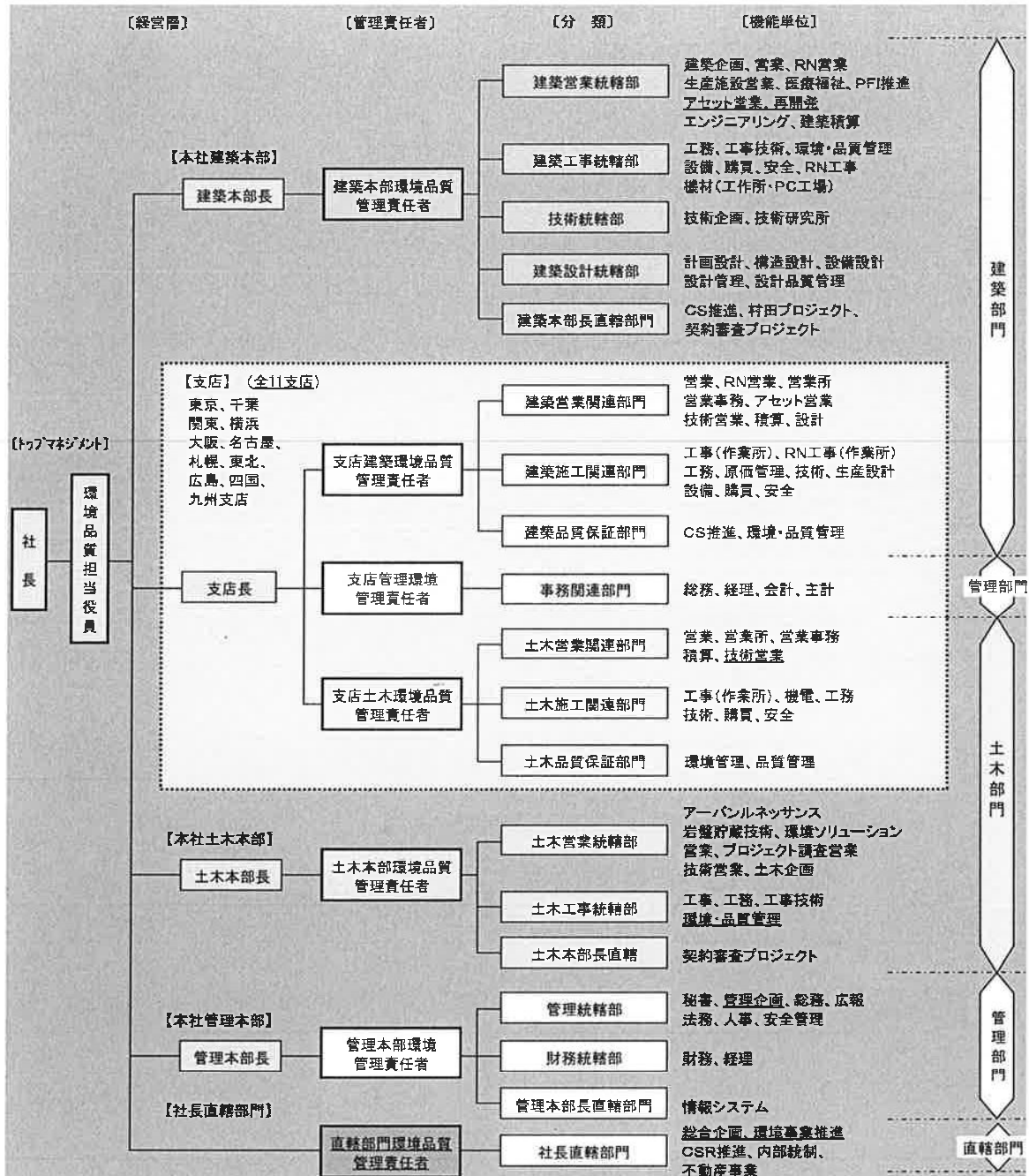
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				以下、該当なし	
①現状	【前年度（ 年度）実績】以下、該当なし				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t		t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t		t
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				以下、「別紙1」のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 新築工事については、名古屋支店指定推薦業者のみ委託契約を基本としている。 委託契約に先立ち、処理業者の現地確認を確認し、適切と判断したのち委託処理を行っている。				

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生利用、熱回収が可能である廃棄物は、再生利用、熱回収ができる業者へ委託する。 可能な限り優良認定処理業者から選定する。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

■ EMS組織機能図



[注1] 『組織機能図』は当社機構に「トップマネジメント(社長・環境品質担当役員)」「経営層(社長・環境品質担当役員・本部長・支店長)」及び「管理責任者(本社・支店)」を表示した概念図である。

[注2] QMS・EMSの運営管理に関する指揮・命令系統は「トップマネジメント」→「本社管理責任者」→「支店管理責任者」→「支店機能単位」となる。ただし、QMSに関しては、本社管理本部(支店事務関連部門)は、建築本部環境品質管理責任者(支店建築環境品質管理責任者)が管理を行う。

[注3] 「機能単位」は「部・室」又は「課・グループ」を示す。「RN」は「リニューアル」の略。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

産業廃棄物の種類		混合物	コンクリート	アスコンクリート	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃石膏ボード	紙くず	がれき類	建設汚泥	合計	
排出抑制	前年度排出量（実績）	75.2	17307.2	1088	90.9	0.6	2925	0.5	28.5	959.9	320.5	22796.3	
	本年度排出量（計画）	100	10000	1000	50	5	2000	10	20	1000	200	14385	
自ら再生利用を行った（行う）量	前年度実績												
	計画（目標）												
中間処理 自ら行う	自ら熱回収を行った（行う）量	前年度実績											
		計画（目標）											
	自ら中間処理により減量した（する）量	前年度実績											
		計画（目標）											
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量	前年度実績												
	計画（目標）												
処理の委託	全処理委託量	前年度実績	75.2	17307.2	1088	90.9	0.6	2925	0.5	28.5	959.9	320.5	22796.3
		計画（目標）	100	10000	1000	50	5	2000	10	20	1000	200	14385
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績											
		計画（目標）											
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績		17307.2	1088	90.9	0.6	2925	0.5	28.5	959.9	320.5	22721.1
		計画（目標）		10000	1000	50	5	2000	10	20	1000	200	14285
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績											
		計画（目標）											
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績											
		計画（目標）											

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、下段に記載のそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。

産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

産業廃棄物の種類		目標値	混合物	コンクリート	アスコンクリート	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃石膏ボード	紙くず	がれき類	建設汚泥	合計
排出量	① 実績値 (t)	2025	75.2	17307.2	1088	90.9	0.6	2925	0.5	28.5	959.9	320.5	22796.3
自ら直接再生利用した量	② 実績値 (t)												
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③ 実績値 (t)												
自ら中間処理した量	④ 実績値 (t)												
④のうち熱回収を行った量	⑤ 実績値 (t)												
自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 実績値 (t)												
自ら中間処理により減量した量	⑦ 実績値 (t)												
自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 実績値 (t)												
②+⑧自ら再生利用を行った量	実績値 (t)												
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 実績値 (t)												
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	実績値 (t)												
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩ 実績値 (t)	2025	75.2	17307.2	1088	90.9	0.6	2925	0.5	28.5	959.9	320.5	22796.3
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 実績値 (t)												
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 実績値 (t)			17307.2	1088	90.9	0.6	2925	0.5	28.5	959.9	320.5	22721.1
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 実績値 (t)												
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 実績値 (t)												

※記入にあたっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。